

平成 2 9 年 度 議 会 活 動 計 画 実 施 状 況

活動計画	実施状況
<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 「みえ県民ビジョン」及び「みえ県民ビジョン・行動計画」の策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせ、調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 平成 29 年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8月4日に知事へ申し入れを行いました。この申し入れについては、「三重の未来を拓く攻めの取組」などについて平成 30 年度当初予算編成に反映されました。また、平成 30 年度三重県経営方針については、10月3日の全員協議会で意見のあった「安心を提供する医療・介護・福祉の充実」について最終案に反映することができました。</p>
<p>②当初予算 「当初予算」については、毎年度、予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に慎重に審議を行い、3月22日に議決しました。なお、財源不足に対応するため、県債管理基金への積立の見送りや企業庁からの借入金の返済期間の変更など異例の対応には批判的な意見もありました。</p>
<p>③個別の行政計画 個別の行政計画については、改訂時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行いました。 ※議決対象計画 「第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」</p>
<p>④特に調査・検討を要する重要課題 県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、政策提言や政策立案を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を平成 29 年 5 月 18 日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。障がい者差別の解消だけでなく、共生社会の実現に向けた施策についても盛り込むこととし、12 月に条例案の骨格、3 月に中間案を決定しました。また、平成 30 年 4 月 4 日から 5 月 7 日までパブリックコメントを実施しました。 ・「働き方改革調査特別委員会」を平成 29 年 5 月 18 日に設置して、県内外調査や参考人招致を行うなど詳細な調査・審査を行いました。平成 30 年 2 月には、県内企業の意識改革を進めるための継続的な取り組みや、ダイバーシティに関する考え方の普及・啓発、建設業における週休 2 日の取り組みの推進や公共工事の発注時期の平準化など、働き方改革の実現に向けた委員長報告を行いました。 ・平成 29 年 5 月 15 日の「選挙区調査特別委員会」において定数及び選挙区に関して正副委員長案が提示されましたが、合意には至りませんでした。その後、議論の参考とするために、直接県民の皆さんから定数及び選挙区に係るご意見もお聴きしました。これらを踏まえて、12 月 7 日の委員会において、県南部地域が抱える人口減少等の課題に対応するため、県南部地域の議員定数を増加させる委員長案を提示しましたが、選挙制度において何が優先されるべきかという信念等の隔たりは大きく、委員会としての最終的な取りまとめを断念し、平成 30 年 2 月に調査・検討を終了しました。なお、定数及び選挙区については、委員長案とほぼ同じ内容の議員提出条例案が平成 30 年 2 月 26 日に提出され、審議の結果、平成 30 年 3 月 22 日に可決されました。

活動計画	実施状況
<p>⑤重点調査項目 6月に策定する年間活動計画において委員会ごとの重点調査項目を定め調査・審査を行います。</p>	<p>⑤重点調査項目 各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行いました。</p>
<p>⑥議員勉強会 議員の政策形成能力の向上を図るため、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>⑥議員勉強会 第1回 平成29年10月17日 テーマ：「働き方改革、そこが間違ってます！」 白河 桃子 氏（相模女子大学客員教授、少子化ジャーナリスト、作家） 第2回 平成30年1月18日 テーマ：「若者と政治」 原田 謙介 氏（NPO法人YouthCreate 代表理事） 第3回 平成30年3月5日 テーマ：「地域が育てたスポーツクラブ アルビレックス新潟」 田村 貢 氏（一般社団法人日本女子サッカーリーグ 専務理事）</p>
<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月1回実施します。</p>	<p>(2) 県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 三重県議会10大ニュースなどを発表しました。 平成29年度開催実績：12回（就任記者会見を除く）</p>
<p>②広聴広報会議 効果的な広聴広報の取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月1回程度開催します。</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。 また、議会中継への手話通訳導入を試行し、アンケートを実施したところ、肯定的な意見が多かったことから、平成30年度から代表質問と予算決算常任委員会総括質疑において手話通訳を導入することを決定しました。 平成29年度開催実績：12回</p>

活動計画	実施状況
<p>ア みえ現場 de 県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会での議論に生かしていくため、県政の重要課題等を設定して、関係団体や県民に広く参加を呼びかける「みえ現場 de 県議会」を開催します。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 以下のとおり2回開催し、議会での議論の参考にしました。 第1回 平成29年11月24日 テーマ：「文化振興」（桑名市） 【県民6人（うち公募3人）、議員14人】 第2回 平成30年1月22日 テーマ：「観光・交流の推進」（鳥羽市） 【県民7人（うち公募4人）、議員13人】</p>
<p>イ みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 平成30年度の開催に向けて、開催要領を決定し、参加校の募集を行いました。</p>
<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申込みを受けて、児童、生徒、学生に対して、三重県議会の仕組み等を学校に出向いて説明し、質疑応答を行う「みえ県議会出前講座」を実施します。</p>	<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申し込みを受けて、7月7日から2月27日の間に、計16校1,136人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が86%と肯定的な結果でした。</p>
<p>【委員会活動の振り返り】 議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から、委員会（予算決算常任委員会の場合は理事会）による自己評価を毎年行います。</p>	<p>【委員会活動の振り返り】 2月定例会議の際に、委員会活動の自己評価を行いました。 （別紙「委員会活動評価総括表」のとおりに）</p>

主な平成29年度委員会活動の振り返りについて

1. 委員会活動の実績について

○年間活動計画に基づき計画的に活動できた。(予決、総地、戦雇、防県)

○県内外調査は、非常に有意義であった。(予決、総地、戦雇、健病、防県)

○参考人招致を実施して勉強になり有意義であった。(予決、総地)

2. 委員会活動の改善等について

○どのように、議員間討議を充実させていくか考えていく必要がある。

(戦雇、防県)

予算決算常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

(1) 年間活動計画の進捗度

- ・計画していたものは予定通り行えた。
- ・参考人招致も時期的に良かった。

(2) 委員会運営の円滑度

- ・働き方改革調査特別委員会の内容を受けて、執行部の委員会への出席者の簡素化に取り組んだ。
- ・総括質疑の進行については、昨年度に引き続き、委員長が午前、副委員長が午後と分けて実施した。このことは次期に引き継いでいただきたいが、副委員長が進行中は委員長が在席できないことについては、引き続き検討課題である。
- ・昨年度の引継ぎ事項で実施したのものとしては、総括質疑の際、質疑者の待機席を演壇の後ろに設置した点がある。良かった点は、見る人にとっては誰が発言しているのかが分かりやすくなったし、質疑者は正面から執行部の答弁を聞くため相手の表情もわかりよかった。課題としては、待機席が遠くなった点がある。この件については、引き続き検証してはどうか。また、待機席に座らずに対面で立ったままの方が見た目もいいので、この点も検討してはどうか。
- ・昨年度の引継ぎ事項で取り組めなかったものとしては、総括質疑の順番がある。質疑は多数派会派の順になっているが、後半だと質疑内容が重なる場合がある。同一会派が昼休みで分断するのは好ましくないが、午前の隙間の時間に少数会派が質疑を行うやり方があってもいいのではないかといい意見が昨年度にあったので、次期で検討してはどうか。

(3) 議員間討議の充実度

- ・昨年度の意見にもあったが、各分科会で議論してきたものであり、難しいところがある。
- ・議員間討議という形ではなかったが、正副委員長の取り計らいもあり、意見が言いやすく議論は十分にできた。

(4) 県内外調査の充実度

- ・県外調査は福島も横浜も良かったし、議会のマニュアルの見直しにつながった。
- ・福島については実際の状況が分かり、議会が災害対策本部を混乱させないためにどう整理していたかがわかった。
- ・横浜は国直轄を分割払いにするなど参考になった。財政健全化に向けた取り組みを着実に実行しており、参考になった。

(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度

- ・参考人招致では、主に国の財政の動きが中心で、地方財政の話が聞けず残念だったが、大きなフレームなど改めて確認もできた。
- ・財政制度の勉強ができて良かったし、引き続き学ぶ必要がある。

(6) 調査・審査結果の施策への反映

- ・執行部への意見については反映できた部分があったと思う。
- ・今年度の予算編成は禁じ手と言われているが、議会として何かできなかったのか。厳しい財政状況は理解できるが、議会のチェック機能として予算決算常任委員会があり、一定のクギを刺す必要はある。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・例年どおりできたと思う。</p>	4.0
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・待機席の移動、答弁者の簡素化等、新しい試みができた。 ・総括(的)質疑における時間配分を少数会派にもっと多くすべきではないか。 ・総括質疑において1人会派の5分間は議論が深まらない。3回ある総括(的)質疑の機会を1人会派で割り合って、少なくとも10分間を年1回実施することも検討してはどうか。</p>	4.3
(3)議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行了いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・委員長報告に対する執行部対応について、不適切な誠意ない答弁に対して委員長の計らいによって、すぐに対応していただいた。</p>	3.6
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <p>・大規模災害等の議会マニュアルに反映されつつある等、充実した。</p>	4.3

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>・総括質疑の際、質疑者の質疑開始時間が分からないとの県民の声を受け、事項書に開始予定時間を追記し、改善を図った。</p>	3.9
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・平成30年度当初予算(案)の説明が議案聴取会で不十分・不適切であった点やこれまでの予算議論・委員長報告等を踏まえた予算編成とするなど、改善するよう委員会として指摘を行い、予算の執行方法を見直すなど、一定の改善を図ることができた。</p>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

総務地域連携常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・年間活動計画の進捗は適切で円滑であった。
- ・県内外調査は十分に調査ができた。特に、県内では国体に向けての施設整備に関する調査ができた。
- ・職員の健康管理に関して、東京で調査したところは大企業でお金もかかっているシステムであり、三重県職員の健康管理に活用するのは難しいと思う。もう少し地に足の着いた取組みのところに行った方がよかったのかもしれないと感じた。
- ・参考人招致は有意義であった。特に、競技力向上の指導者のレベルを上げていく必要性がわかった。
また、参考人から要望のあった部活動指導員については来年度事業に反映した。
- ・議提議案についての議員間討議は活発であった。

2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.8
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.0
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [・委員長報告の内容について、活発な議論・積極的な提案等、うまく運営されていたと思う。]]	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	4.8
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [・活発な協議がなされたと思う。]]	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。	3.9
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p>	3.5
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・議員提出条例等について検討した。</p>	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

戦略企画雇用経済常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- (1) 年間活動計画の進捗度
 ・何ら計画と食い違うことはなく、適切であった。
- (2) 委員会運営の円滑度
 ・正副委員長の適切な運営で順調であった。
- (3) 議員間討議の充実度
 ・委員間討議は、ある委員の発言に対して「賛同する」「いやこういう考え方もある」と議論し、コンセンサスを得ていくものであると思う。やり方としては、委員長が課題を出すか、委員間で手を挙げて課題を提起するのだが、なかなか難しいと思う。
 ・委員長が「執行部提案のこの点について討議します。」とはなかなか言えない。
 ・例えば無理をして議員間討議することはできるが、そういう流れにはなっていない。
- (4) 県内外調査の充実度
 ・十分に県内外調査先を選定し、それを受けての実りある視察で、活用できた。
 ・視野を広げられてよかった。県外調査はどう利用できるか事前に考えて選定することも必要。
 ・県外調査は、県内の施設を頭に描きながらやれたらよかった。
- その他
 ・いろいろな評価の視点を消化し評価をしていくと、評価はよくなっていくが一方で自由度がなくなる。

2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.3
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.6
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.6
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [委員会としての政策立案のプロセス・手法として活用すべき]	

項目	評価の視点	平均点
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.7
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	3.9
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 []	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・県内外調査の調査先と当初設定した重点調査項目との関係は適切であったと感じている。
- ・委員会での政策提言は行わないとしたが、これまでの委員間討議の議論は政策の参考になったのではないかと思う。

2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	3.8
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	4.1
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { }	3.4
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) { ・県内調査の箇所数を増やしてほしい。 ・県政の状況や課題について、事前に執行部との意見交換や勉強会などがあればさらに良かった。}	4.1
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) { }	3.0

項目	評価の視点	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。	
	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

健康福祉病院委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・重点調査項目であった国民健康保険については、しっかりと勉強ができ、よかった。
- ・多くの計画の策定や見直しがあったが、ポイントを絞って議論ができ、円滑に行うことができた。
- ・健康福祉部と病院事業庁ではボリュームにアンバランスがある。来年度は組織改正もあり、来年度の運営の仕方についてはどう分けるかを次期へ引き継いだらどうか。
- ・全体として充実した委員会であった。
- ・執行部との協議が必要だが、計画の提出(審議)の時期を調整できないか。今年度は年間の本数が多かった。
- ・限られた時間の中、委員会運営が円滑で内容が深まった。

2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.4
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
<ul style="list-style-type: none"> ・国保の都道府県化については、しっかりできたが、それ以外は執行部の計画が多くあまり進まなかった。 		
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.4
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
<ul style="list-style-type: none"> ・制限のある時間の中で、追い立てられる感もあった。 ・多量な内容をスムーズに運営していただきました。 ・多くの計画(案)の調査があったもののポイントを絞って議論ができ大変円滑であった。 		
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	3.4
	議員間討議を十分に行了いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
<ul style="list-style-type: none"> ・討議はあまり進まなかったように思う。 ・それぞれの立場の発言が活発に行われた。 ・国民健康保険県域化や子ども医療費窓口無料化についてしっかりと議員間討議ができた。 		
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。	4.1
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
<ul style="list-style-type: none"> ・有意義でした。 ・福祉関係の調査内容は市町村業務がベースになっているものが少し多かったか。 		

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>{ ・ボリュームが多すぎたため参考人招致などを行う余裕がなかった。 }</p>	3.4
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>{ ・国保の都道府県化について、委員長報告を行うことができた。 }</p>	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・年間活動計画はスケジュール通り行っていたと思うので評価したい。
- ・委員会の議論の内容と県内外調査先が密接に連携していたため、とても良かったと思う。
- ・県外調査で東北地方に行ったが、6年経った各地域の状況がよく分かり、三重県でどう生かしていくべきかということも大変参考になった。
- ・県内外調査は委員間で共有できるので有意義だと思うが、県財政が厳しい中で、場合によってはもう少しコンパクトにしても良いのではないか。
- ・実際に現場を見ることは非常に大事だと思うため、節約も大事だが、やるべきことはやる必要がある。
- ・議員間討議について、当委員会の中身を考えたとき、所管事項調査等の中では課題が見出しにくく、どのように充実させていくかが難しいと感じた。
- ・議員間討議では、もう少し委員が議論をするという意識を持つようにしていけないといけない。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.8
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.8
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	2.6
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) [・テーマの設定を意図しないと難しい。]	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。	4.3
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載)) []	

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>[]</p>	3.8
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>[]</p>	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

教育警察常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・ 県内外調査は充実した内容であった。
- ・ 県内の外部有識者から学力・体力の向上について、調査を行うための参考人招致の場がもてればよかった。
- ・ いじめ防止対策について、教育委員会だけでなく関係している他部局との関係についても調査できればよかった。
- ・ 県立高等学校の活性化は、人口減と隣り合わせの課題であり、引き続き地域の状況を把握していく必要がある。

2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.5
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.8
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	2.9
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.8
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	2.8

項目	評価の視点	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 ()	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。